

学術研究ポスター発表会が令和 4 年 10 月 25 日(火)の 5~6 時間目で開催されました。今回の発表会は盛岡一高の生徒や、県内外の先生方、保護者など、外部からお越しいただいた方々に発表する機会でもありました。事前に行っていたゼミ内のポスター発表での反省を生かし、多くの班が完成度の高い発表を行うことができたと思います。また、聴衆側でも発表を余すところなく聞き、質問をすることによってより理解しようとする態度が見受けられました。いつも 2 年生の研究に助言をくださっている TA からの講評を掲載します。

・私自身も教わって気付いたことですが、自分たちの研究の中で特に伝えたいところ、見てほしいところはどこかを考えておけると、さらに分かりやすい発表になるのではないかと思います。たとえば、ポスターの中でも、自分たちが重要だと思った部分や、分析する上で特に注目した数値などを、太字や色を使って強調してみるのも良いかもしれません。発表内容全体を俯瞰して、自分たちの主張の筋道が通っているかどうか、班員のみんなで改めて確認し、考え直すことも大切になってきます。その過程から本当にその結論が導き出せるかどうか、自分たちが見つけた根拠をしっかりと伝え切れているかといった部分について、適宜見つけ直すことも大切になるかもしれないと思いました。

(東北大学文学部 2 年 庄子 沙也加さん)

・前回、指摘されていた聴衆を見て話していないという部分は全体的に改善されているように思います。保護者の方もいる中、質問にきちんと答えられていたと思います。しかし、全体的に結果の見せ方があまり良くなかったと思います。得られた結果をただそのまま載せているだけでは、初めて見た人はどこを比べてみればよいのかわかりません。特に重要な結果を目立たせたり、結論と関係ない結果は載せないなど、初見の人でもわかりやすくなるような工夫があるとよいと感じました。

(東北大学大学院 情報科学研究科 博士課程前期 1 年 近野 翼さん)

・前回の発表会ですが、気になった点として質問がすぐに出ないことが多かったので、予め一人目に質問する人を決めておいてもよいかと思いました。発表会の感想ですが、TA のポスター発表にほとんど生徒さんが見に来られませんでしたので、ゼミ発表の一覧に入れていただき、発表ブースの一つとしていただけると、もっと見てもらえたのではないかと思います。

(東北大学大学院 文学研究科 博士課程後期 2 年 齋田 涼裕さん)



体育館での発表（服装にも気合の入る人々）



盛岡一高との交流会

生徒の感想

- ・外部の方々からのアドバイスをもらうことで、自分の班の研究の美点、欠点を把握することができた。
- ・原稿を見ない、相手を見て話すという注意点を心に留めて発表している人が多かった。
- ・保護者の方々からいただいた感想やご意見も、研究に生かしていきたい。
- ・今まで関わりの無かった他のゼミの発表を聞くことができ、新たな視点の発見につながった。
- ・他の班の発表を聞き、質疑応答を行うことで、研究活動へのモチベーションが上がった。
- ・聴衆の方からの質問で、研究ポスターの説明不足なところや改善点が見つかった。
- ・より見やすく、分かりやすいポスターのレイアウトが分かったので、次回に生かしたい。

全体発表会における各ゼミの様子／コメント

国語ゼミ

どの班も原稿を見ることなく、また質問にしっかり受け答えができていて前回の発表からの成長がうかがえた。曖昧な言葉が多かったため、次回までに定義しておきたい。

地歴ゼミ

聴衆が研究に興味を持って聞いている様子が見られたため、どの班も誠意を持って発表していた。調査できなかった内容に対する質問に適切な回答ができない班もあった。

保体ゼミ

緊張している人が多かったものの、どの班もいい発表ができていた。質疑も活発で鋭い質問も来た。

情報ゼミ

各班のこれまでの研究を通して得た結果や結論を聴衆に分かりやすい形で伝えることができていた。班の中で結束し、一人一人が班でいい発表ができるように尽力した。

家庭ゼミ

グラフが見づらいというご意見が多かったので、グラフのフォント、文字の大きさを改善したい。また、研究の内容をより深められるように、今後も研究活動を頑張っていきたい。

音楽ゼミ

発表直前になって、ポスターに修正を加えたり、原稿を直したりすることになったが、本番では最善を尽くすことができた。言葉の定義が曖昧なところもあったので、次回までに改善したい。

災害研究ゼミ

聴衆が熱心に発表を聞いていたため、発表者も生き生きと発表していた。

英語ゼミ

初めて英語で発表したのだが、皆原稿を見ずに堂々と発表をしていた。話すスピードが早く、聴衆にとってわかりづらいものになってしまったので、改善したい。

数学ゼミ

トラブルがあった班もあったが、いい発表になった。大学の先生からもらった意見を参考にして研究を進めていきたい。

公民ゼミ

聴衆が多く集まった班があった。大学の先生からの質問に苦戦している人もいた。

地学ゼミ

ゼミ毎の発表会（一人6回発表）に比べて、全体発表会は発表回数が少なかったので（3回発表）、発表で詰まることはなかった。質問の対策もできていたので質が高まったように感じた。

生物ゼミ

どの班も質疑応答が活発だった。前回の発表に比べて、よりよいものができたと思う。

化学ゼミ

聴衆の人数に差はあったがそれぞれの班が発表に対して真摯に取り組めていてよかった。

物理ゼミ

質問だけでなく助言も沢山きて、大変有意義な時間を過ごすことができた。実験結果の誤差がどこに起因するかという質問が頻繁に飛び交った。

編集後記

2年生にとって、1年半行ってきた学術研究の集大成となる発表会でした。多くの2年生がこの発表会のために準備してきただけあって、クオリティーの高い発表が多かったです。外部講師の方々を始めとし、多くの方々が質問や意見をくださいました。そのおかげで、研究の至らないところや改善点を見付けられた班が多かったようです。

12月の口頭発表会では、この発表会で学んだことを生かしながら、研究の精度向上や、ポスターの改善等に努めていきたいです。